

普及活動情勢報告（令和2年6月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

青年農業士主催の出前授業 ～地域ぐるみでハスモンヨトウを捕獲しよう大作戦～



5月25日、芸西小学校の3年生児童29人を対象に、農業改良普及課と青年農業士が、出前授業を行いました。

授業では、芸西村で栽培が盛んなピーマンとナスの生産量、害虫、天敵やトラップを用いた様々な害虫の防除方法、ハスモンヨトウの成長における変化の様子などについて説明しました。

児童からは、「フェロモントラップで捕まえるのはハスモンヨトウのオスだけでいいの?」といった質問があり、防除方法への理解が深まったようでした。

次回は、実際にフェロモントラップを設置する体験学習を行います。農業改良普及課は、生産者・JA・村役場・小学校と連携して、児童が農業に関心を持つきっかけとなるよう働きかけていきます。

新品目の本格的な生産を目指して！ ～葉ニンニク栽培検討会～



5月29日、葉ニンニク栽培生産者4人と関係機関の計8人が中芸集出荷場で、令和2年度の葉ニンニクの栽培について協議しました。

農業改良普及課は前年度の栽培結果を説明し、有望品目として地域に定着させるためのポイントについて指導しました。

前年度は、ほ場準備の遅れにより定植が10月にずれ込んだため、目標とした年内出荷は一部にとどまりました。本年度はその反省に立ち、9月から定植していくことをみなで確認しました。

農業改良普及課は、今後も中芸地区に葉ニンニクが定着するよう取り組みます。

高品質な酒米の生産拡大に向けて ～酒米「吟の夢」の田植え～



6月2日、東洋町の89aの水田で、酒米「吟の夢」の田植えが生産者により行われました。

安芸農業振興センター室戸支所は、今後の生育調査に向けて、苗の根張りなどを確認しました。

同町産の「吟の夢」は、野根川の水を仕込み水にした日本酒「香魚」に昨年から使用されています。

室戸支所は今後、地域での高品質な酒米の生産拡大に向け、生育調査等に基づいた穂肥の施用時期や量について指導を行います。

ナスの消費拡大 ～レシピ動画の撮影学習会～



6月9日、安芸市女性の家（公民館）で、安芸市施設園芸品消費拡大委員会がナスの消費拡大を目的にレシピ動画の撮影学習会を行いました。講師に株式会社東京映画社のカメラマンを迎えて9人が参加しました。

学習会では、カメラのオート機能は使わずに感度や露出、ピント合わせ、ホワイトバランスを手動で設定する方法を習いました。

事前に作成した絵コンテに沿って画面の構図を決め、1シーンごとに撮影しました。

農業改良普及課は、絵コンテ作りの指導や講師の依頼、関係機関との連携など講習会が円滑にできるように支援しました。

今後は撮影方法をマニュアル化し、委員会自身で撮影できるように支援します。

改めて、青枯病の対策を！ ～穴内研究会ナス部会反省会～



6月11日、穴内支部園芸部研究会が穴内集出荷場でナス部会反省会を開催し、生産者18人が出席しました。

反省会では青枯病の防除対策について勉強会を行い、農業技術センターからは青枯病の特性や有効な防除法について、農業改良普及課からは対策の1つとして「低濃度エタノールを利用した土壌還元消毒」について説明しました。

出席者からは、青枯病の菌群に関する質問や「色々な防除方法を組合せて抑えていかんとね。」といった意見が聞かれ、次作に繋がる勉強会となりました。